

SDGs未来都市 北九州市

55th Anniversary
北九州市 55

「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される
「グリーン成長都市」へ



平成30年11月26日

北九州市企画調整局政策調整課 政策調整担当係長 大内田 佳介

SDGs と北九州市

～北九州市に対する国内外の評価～

55th Anniversary
北九州市 55

第1回「ジャパンSDGsアワード」
特別賞を受賞（2017年12月26日）

280団体以上が応募

12団体受賞（自治体は北九州市と下川町のみ）



首相官邸での表彰式（写真提供：内閣広報室）

OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定される
（2018年4月18日）

10～12都市選定（ドイツ・ボンなど）

アジア地域で初めて選定



共同記者会見

国より「SDGs未来都市」及び
「自治体SDGsモデル事業」に
選定される（2018年6月15日）

29都市選定（うちモデル事業は10都市のみ）



市長会見

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

- **SDGsの国内実施の促進**により、「地方創生」につなげる
- 自治体・民間企業・NGO・NPO・大学・研究機関など、広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める「**官民連携の場**」
- 会員：436団体（自治体205、省庁12、民間団体：219）
- **会長：北橋市長**、副会長：三宅経団連CSR委員長、ほか幹事2名



設立総会・キックオフイベント【平成30年8月31日】

市民が中心になり課題を解決し、時代を切り拓いた都市・北九州



過去 **市民力(市民の力)・チャレンジスピリット** 未来

☆「市民」には、団体(NPO・自治会等)・企業・大学なども含む

「環境未来都市」から「SDGs未来都市」へ



世界に「北九州市」を発信

17の「ゴール」の多くは、「北九州市環境未来都市」の既存施策と関連

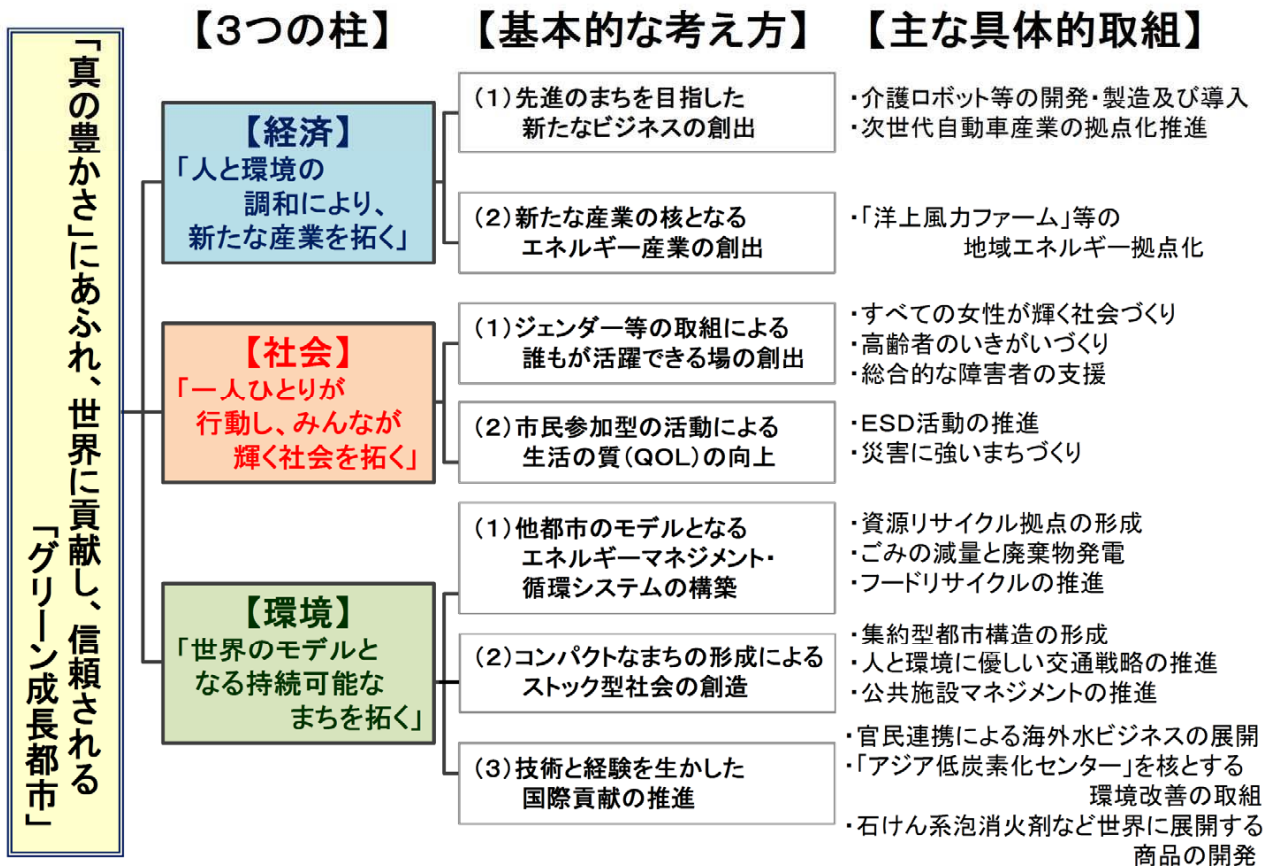


これまでの取組を推進することで、SDGsの達成に貢献

＜北九州市環境未来都市の主な取組＞

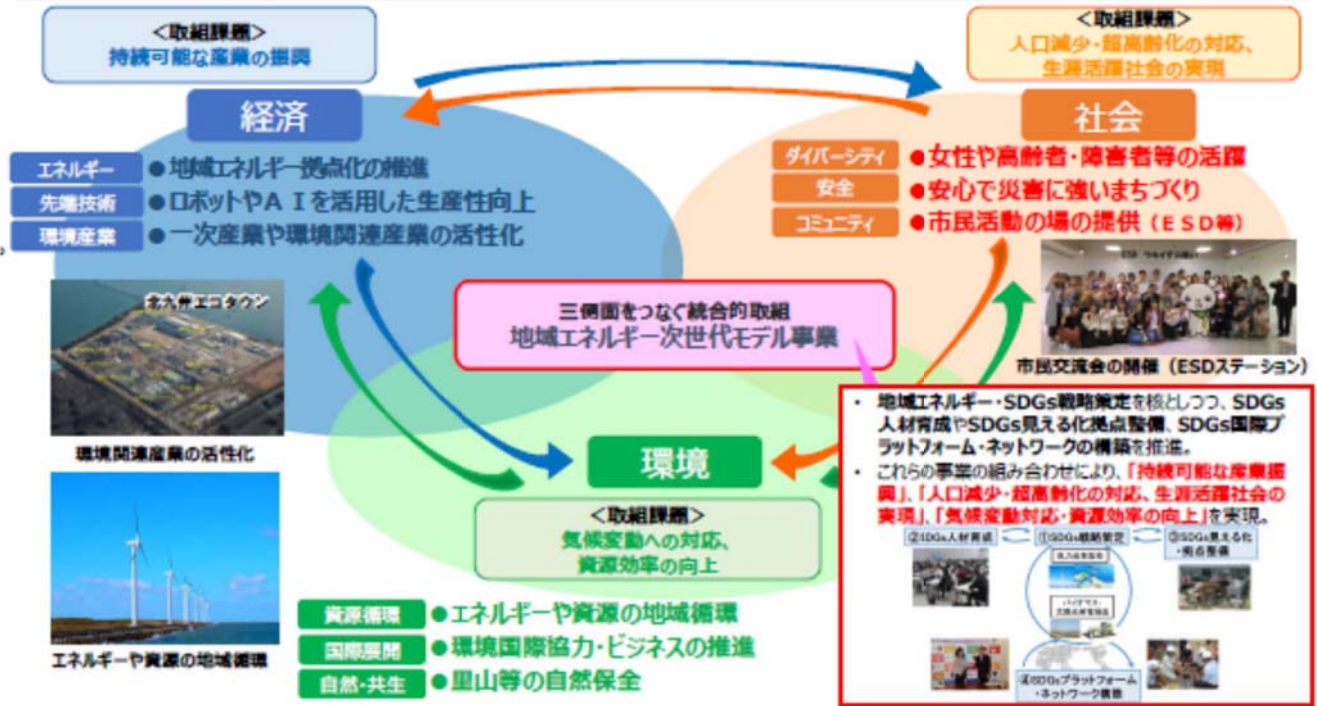
- 北九州市地域エネルギー拠点化推進事業 【環境：低炭素・省エネ】
- 城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業 【環境：低炭素・省エネ】
- 日中大気汚染・省エネ対策共同事業 【環境：水・大気】
- 官民連携による海外水ビジネス 【国際環境ビジネス】
- 健康で元気な高齢者をつくる多世代交流事業 【超高齢化】 など

北九州市のSDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組



「地域エネルギー次世代モデル事業」 (国から「自治体SDGsモデル事業」に選定)

- エネルギーを核としつつ、技術力・市民力を活かした課題解決事業を展開し、国内外へ普及展開する。
- 具体的には、低炭素エネルギーの振興や環境産業の活性化、女性や高齢者・障害者の活躍、エネルギー・リサイクル産業の技術向上と海外展開等を進める。



■ SDGs達成につながる取組事例

「市民を中心としたESDや市民活動の推進」 <市民力の再構築>



<北九州ESD協議会の取り組み> 「地域・NPO+大学」のコラボレーション



<女性活躍の推進>

北九州市の附属機関及び市政運営上の会合 (H29.7.1現在)

女性委員参画率 50%超 ※指定都市で初!



■ SDGsの達成につながるの取組事例 「オール北九州で健康（幸）寿命を延伸」

健康（幸）寿命プラス2歳 北九州サミット（H30年8月28日開催）

【参加団体】

保健医療・職域・労働団体・保険者・教育・地域
など（20団体）

【共同宣言】

私たち北九州市民は、オール北九州で**健康寿命プラス2歳を実現**し、すべての市民が元気で幸せに暮らすことができる北九州市を目指します。



健康づくり推進員の活動



食生活改善推進員(ヘルスマイト)の活動



■ SDGs達成につながる取組事例

「次世代エネルギーの拠点化」 〈次世代エネルギーのビジネス化〉

多様なエネルギー供給の 総合ショールーム 【響灘地区】



■ 主な成果

- 地域エネルギー会社「株式会社北九州パワー」の設立【H27.12】
- バイオマス発電所の設置・運営事業者（優先交渉者）決定【H28.8】
- 「北九州響灘洋上ウィンドファーム」（仮称）の事業者と北九州市が基本協定締結【H30.1】（計画：最大44基程度、総事業費1,750億円）






■ SDGs 達成につながる取組事例

「環境国際協力と環境国際ビジネスの推進」<国際協力からビジネスへ>

アジアとつながる 3つの力

- ① 公害克服の経験
- ② 環境・エネルギー技術
- ③ フレンドリーな関係

	スラバヤ市 (インドネシア) 2012年11月 「環境姉妹都市提携」
	ハイフォン市 (ベトナム) 2014年4月 「姉妹都市協定」
	プノンペン都 (カンボジア) 2016年3月 「姉妹都市協定」
	ダバオ市 (フィリピン) 2017年11月 「環境姉妹都市提携」



プノンペン都との
姉妹都市協定締結式



廃棄物分別中間処理施設
(スラバヤ市)

■ 主な成果

- 廃棄物管理、エネルギー、上下水、環境保全など「北九州モデル」を活用した総合的なまちづくりの輸出 (FS調査: インドネシア他4カ国、ビジネス支援: インドネシア他8カ国、コンサルティング業務: カンボジア他4カ国)

3	すべての人に健康と福祉を	6	安全な水とトイレを世界中に	13	気候変動に具体的な対策を	17	パートナーシップで目標を達成しよう
							

■ SDGs の達成につながる取組事例

「環境国際協力と環境国際ビジネスの推進」<国際協力からビジネスへ>

● 国際技術協力

各国へ専門家を派遣

各国から研修員を受入

- ・ 国内外に貢献する上下水道
- ・ 経験やノウハウの蓄積
- ・ 人材育成
- ・ 人的ネットワークの形成



プノンペンの奇跡



カンボジアでの
技術協力の様子

● 海外水ビジネス

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」と連携し、ベトナム、カンボジア、インドネシアを中心に海外水ビジネスを展開



北九州市海外水ビジネス推進協議会



ベトナムに完成した
U-BCF



カンボジア工業手工芸省と
覚書締結

■ 主な成果

- 水ビジネス受注件数: 54件 (H30.8時点) (カンボジア、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、中国)
- 「プノンペンの奇跡」に導く

6	安全な水とトイレを世界中に	8	働きがいも経済成長も	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	17	パートナーシップで目標を達成しよう
							

■ SDGsの達成につながる取組事例

「SDGsの普及啓発」(企業との連携協定締結)

環境・SDGs連携協定締結(平成30年2月13日)
【損害保険ジャパン日本興亜株式会社・北九州市】



- SDGsに関する企業と自治体の協定は**全国初**
- お互いの強みを活かして、市民活動を推進するとともに、市内企業のビジネス展開にもつなげる

■ SDGsの達成につながる取組事例

「文化の力でSDGsの普及啓発を推進」(企業等との連携)



北九州市漫画ミュージアム

文化など、本市の強み(特色)を生かして、SDGsの普及啓発に取り組む!

九州初!

「東アジア文化都市2020 北九州」
開催地決定(2018.8.8)

Art for SDGs



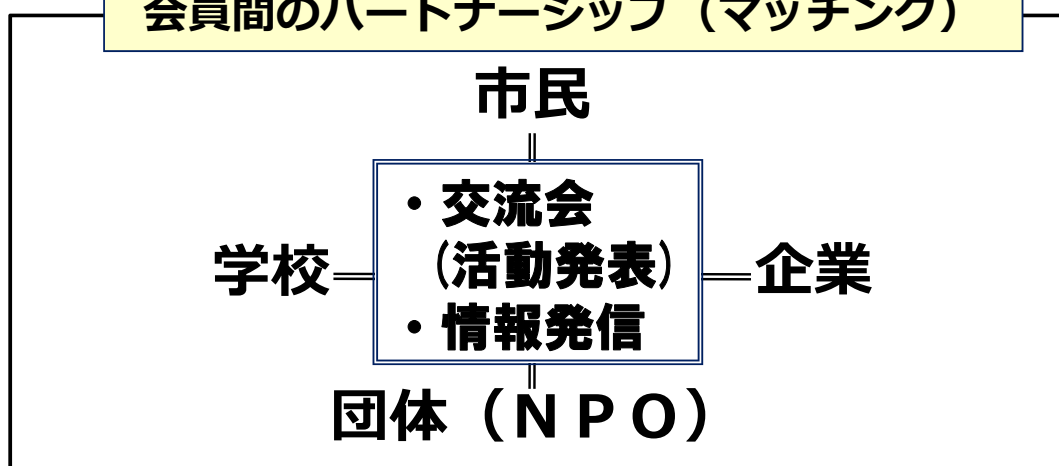
■ 「SDGs」達成に向けた新たな取組（普及啓発）

「北九州SDGsクラブ」の創設

- 「SDGs達成」に賛同する市民等を幅広く募集。「活動の担い手」として会員登録。
- 会員に対して、SNS等で情報発信。
- 会員向けイベントや交流会を開催。楽しく学びながら、SDGsの取組(モデル事業等)への理解を深めてもらい、「活動の担い手」として参画してもらう。
- 会員企業の活動支援(CSR・CSV)。(雇用確保、ビジネスチャンス拡大等へ)



会員間のパートナーシップ（マッチング）



■ SDGsの取り組みを市民とともに（普及活動）

出前講演(大学・高校・業界団体・自治会等)



福岡県立戸畑高等学校(総合的な学習)



北九州市私立幼稚園連盟(PTA研修)

キックオフイベント開催

北九州市 SDGs 未来都市 キックオフイベント

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

参加無料 定価 1,200円

2018年 11月4日(日) 14:00 ~ 16:00(開場 13:30)

北九州芸術劇場 大ホール (リバーウォーク北九州 6階)

記念講演 「SDGsと子どもたちの未来」 ~子どもと大人のパートナーシップ~

講演者 尾木直樹氏(尾木ママ)

主催：北九州市 協賛：吉本興業株式会社

●プログラム(9:30)

- 主催挨拶
- 尾木直樹氏による記念講演
- SDGsの取組への事例発表
- 吉本興業のお笑い芸人登場

SDGsの積極推進 など

司会：CROSS FM 立山 輝子

北九州市 × 吉本興業

■ 市民が主役のSDGsの取り組み（活動事例）



子ども食堂

3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



17 パートナーシップで目標を達成しよう



商店街

8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



大学×地域



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう



魚町商店街は、日本で初めてのSDGs商店街を目指します！

北九州市にとってのSDGs

～SDGsに取り組み「都市のステータス」をさらに向上させる～



北九州市環境基本計画（改定）



市長会見（ジャパンSDGsアワード受賞）

「オール北九州」でSDGsに取り組む！

「SDGs」に取り組むことで、

- 世界に「北九州市」を発信・貢献
- 市民生活の質（QOL）の向上
- 都市ブランド力の向上

北九州が変われば日本が変わる 日本が変われば世界が変わる



インドネシア・スラバヤ(環境姉妹都市)にて

ご清聴ありがとうございました

北九州市SDGs未来都市

「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される
「グリーン成長都市」へ



北九州市企画調整局政策調整課

〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号
Tel.093-582-2156 Fax.093-582-2176



北九州市企画調整局政策調整課

2018年10月作成
北九州市印刷製版登録番号第 18060218

SDGs FutureCity KITAKYUSHU

SDGs (持続可能な開発目標)とは



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS Public Private ACTION for Partnership!!
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD
～SDGsで日本を元気に、世界を元気に
その主役はあなたです!～

- ◎ 2015年9月の国連のサミットで、すべての加盟国(193カ国)が採択した世界の開発目標です。
- ◎ 発展途上国のみならず、先進国も取り組むこととしています。
- ◎ 2030年までの目標であり、17のゴール、169のターゲットに取り組んでいきます。
- ◎ 日本全体で取り組む達成すべき課題とその目標であり、北九州市も自治体として、市民や企業、団体などと連携し、市一丸となって、SDGsの達成に向けて取り組んでいきます。

参考

国連広報センター 2030アジェンダ
http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/



ユニセフ 持続可能な開発目標 (SDGs)
https://www.unic.or.jp/sdgs/



日本とSDGs ～日本政府の取り組みについて～

日本政府の取り組み

- ◎ 2016年5月に総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」が設立され、日本政府の取り組みがスタート。同年12月には「SDGs実施指針」が公表されました。
- ◎ 日本政府の具体的な取り組みとして、2017年12月に、「第1回ジャパンSDGsアワード」の開催及び「SDGsアクションプラン2018」を公表し、官民によるSDGsの主要な取り組みを発信しました。2018年6月には、SDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する自治体(29団体)を「SDGs未来都市」として選定しました。
- ◎ 今後、日本政府は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどにおいて、日本のSDGsモデルを世界に発信していく予定です。

SDGsに関する国の動向

2016年 5月	SDGs推進本部 設置 (本部長: 安倍総理大臣)
12月	「SDGs実施指針」策定
2017年 12月	「SDGsアクションプラン2018」公表 第1回「ジャパンSDGsアワード」開催
2018年 6月	SDGs未来都市 選定 (29自治体、うちモデル事業10自治体)
2019年 冬	「SDGs実施指針」改定

日本のSDGsモデルを世界に発信!

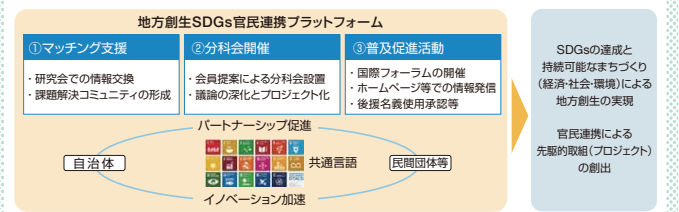
- ◎ G20サミット(日本開催)
- ◎ 東京オリンピック・パラリンピック大会
- ◎ 万博誘致(2025年)

TOPICS 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

- ◎ 日本政府(内閣府)は、我が国におけるSDGsの国内実施の促進及びそれに資する「環境未来都市」構想を推進し、より一層の地方創生につなげることを目的に、地方公共団体・民間企業・NGO・NPO・大学・研究機関等、広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める官民連携の場として、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」を設立しました。(参加団体:436団体 2018年8月31日時点)
【役員】会 長: 北橋 健治(北九州市長)
副会長: 三宅 占二(一社)日本経済団体連合会 企業行動CSR委員長
幹 事: 村上 周三(一財)建築環境省エネルギー機構 理事長
幹 事: 鯨川 憲史(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)

プラットフォームの役割

自治体におけるSDGsの達成に向けた取り組みは、地方創生の実現に資するものであり、本プラットフォームは、SDGsを共通言語として、課題解決に取り組む官民の連携創出を支援することを目的として設立する。



北九州市とSDGs(1) ~北九州市の取り組みに対する国内外からの評価~

第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞

- (2017年12月26日)
- ◎2017年12月に、北九州市を含め、12団体が、第1回「ジャパンSDGsアワード」を受賞し、首相官邸で表彰を受けました。(自治体では北海道下川町と本市のみ)
 - ◎事務局である外務省より本市の「環境・国際貢献をはじめとする取り組みはトップレベルの功績であり、他の自治体の手本になる」という講評をいただいています。



OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定される

- (2018年4月18日)
- ◎2018年4月に、OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」にアジア地域で初めて選定されました。
 - ◎2011年にOECDより「グリーン成長都市」に選定されましたが、今回SDGsの分野でも選定されたことは大変光栄であり、今後「世界のSDGsモデル都市」として、国内外に本市の取り組みを発信していきます。



国より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定される

- (2018年6月15日)
- ◎2018年6月に、国より「SDGs未来都市」(全国29自治体)に選定され、首相官邸にて、選定証が授与されました。
 - ◎国が費用の一部を補助する「自治体SDGsモデル事業(全国10事業)」にも本市の提案事業が選定されました。
 - ◎これを励みに、SDGsの達成に向けた取り組みを推進し、市民生活の質の向上や市内企業のビジネスチャンスの拡大を目指していきます。



国連ハイレベル政治フォーラムでの発表

- (2018年7月16日-17日)
- ◎2018年7月に、国連本部にて毎年度開催する、2030アジェンダ及びSDGsに関する国際的なフォローアップを行う会合である「ハイレベル政治フォーラム」が開催され、北九州市長が参加しました。
 - ◎「地方・地域政府フォーラム」では、市長が、アジア地域で唯一発表し、本市及び日本の取り組みを世界に発信しました。また、国連公式イベント「持続可能な都市の実現に向けたアジア太平洋地域のイニシアティブ」でも市長が日本の自治体を代表し、発表しました。



北九州市とSDGs(2) ~公害克服の経験を生かし、SDGs先進都市へ~

市民が中心になり課題を解決し、時代を切り拓いた都市-北九州



(1)【過去】公害克服と国際協力

- ◎工業都市である北九州市では、かつて、日本の経済成長に貢献する一方で、大気汚染や水質汚濁等、深刻な公害が発生しました。
- ◎まず最初に「婦人会」が「青空がほしい」というスローガンのもと立ち上がり、その後、企業・大学・行政等一丸となって、さまざまな対策を講じた結果、公害を克服しました。
- ◎この経験は、「市民力」という本市のかけがえのない財産となり、後の環境国際協力が繋がっています。また「国連グローバル500」や「国連地方自治体表彰」を受賞し、国内外から高く評価をされました。

(2)【現在】環境未来都市の推進

- ◎公害克服から次のステージを目指し、「北九州エコタウン」(1997年)、「家庭ごみ有料指定袋制」(1998年)など、市民の理解と協力のもと、「循環型社会づくり」を推進しました。
- ◎また、「低炭素社会づくり」では、「環境モデル都市」に選定(2008年)され、アジアをはじめ、地球規模で貢献すべく挑戦を開始しました。
- ◎その後、「環境未来都市」に選定(2011年)され、「環境面」に加え、「社会面」や「経済面」において、わが国の将来の課題に取り組んでいます。この「環境未来都市」等の取り組みが評価され、OECDの「グリーン成長都市」にアジアで初めて選定(2011年)され、「G7エネルギー大臣会合」(2016年)の開催に繋がりました。

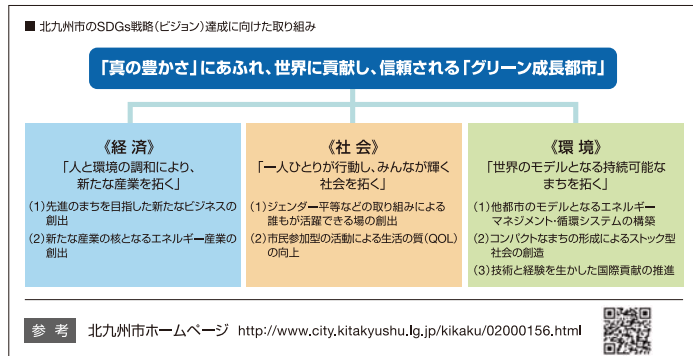
(3)【未来】SDGs先進都市づくり

- ◎本市の強みである「市民力」や「ものづくりの技術力」などを生かして、「環境モデル都市」や「環境未来都市」として国内外での評価が高い、「環境」や「国際貢献」などの取り組みをさらに推進し、「SDGs先進都市」を目指していきます。

北九州市 SDGs未来都市

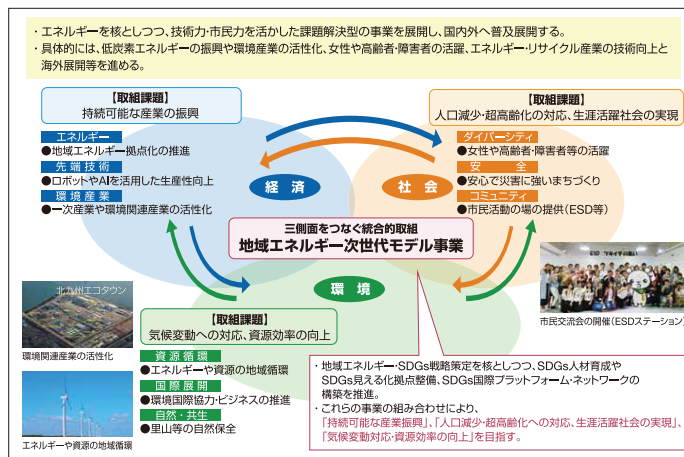
北九州市SDGs未来都市計画

- ◎2018年6月に国から「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、同年8月に「北九州市SDGs未来都市計画」を策定しました。
- ◎本市は、SDGsの達成に取り組むことで、「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される「グリーン成長都市」を目指していきます。
- ◎また、このビジョンの達成に向けて、経済・社会・環境の三側面を統合的に取り組み、自律的な好循環が生まれることを目指していきます。
- ◎これらの取り組みのひとつとして、国より自治体SDGsモデル事業に選定された「地域エネルギー次世代モデル事業」を推進してまいります。



地域エネルギー次世代モデル事業

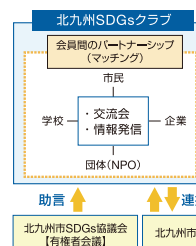
- ◎「地域エネルギー次世代モデル事業」の具体的な取り組みは以下のとおりです。
- 1.【経済面】「持続可能な産業の振興」を目指す
 - 例) 洋上風力発電をはじめとする「地域エネルギー」の拠点化を推進
 - ① クリーンな電力を企業等へ供給
 - ② エネルギー関連企業の誘致や起業支援による雇用の創出
- 2.【社会面】「生涯活躍社会の実現(人口減少・超高齢化への対応)」を目指す
 - 例) 市民の健康寿命を延ばすことを目指し、高齢者が活躍できる場を提供
 - ① 高齢者雇用の促進
 - ② 市民活動等の支援
- 3.【環境面】「CO₂の削減による気候変動への対応や資源効率の向上」を目指す
 - 例) 「環境のまち」として築いてきた、技術や経験、国際ネットワークを生かした経済面や社会面の課題解決に挑戦
 - ① 新たなリサイクル[レアメタルやPV(太陽光発電)パネル等]の取り組み
 - ② 市が提案するモデルを世界に発信し、世界規模のCO₂の削減に貢献する「環境国際協力ビジネス」に繋げる



SDGs達成に向けた推進体制

北九州市SDGs協議会及び北九州SDGsクラブ

- ◎SDGsの達成のためには、産学官民の連携による取り組みの推進が不可欠です。
- ◎そこで、学識者や経済団体、市民の代表からなる「北九州市SDGs協議会」を設置し、「北九州市SDGs未来都市計画」に関する事項(優先的に取り組むゴールや取組内容の検討等)やSDGs推進に向けた取り組み(普及啓発等)などに助言をいただきます。
- ◎また、市民や企業、団体(NPO等)などが会員となり、各会員が交流し、SDGsに関連する活動を促進する「北九州SDGsクラブ」を創設します。
- ◎この2つの組織を両輪として、SDGsの達成に向けた取り組みを推進していきます。



北九州市「SDGs未来都市」庁内推進本部(2018年2月設置)

- ◎SDGsを推進するにあたり、市全体の施策にかかる意思決定や、関係部局における相互の緊密な連携を図るため、市の内部組織として、市長を本部長とする「北九州市「SDGs未来都市」庁内推進本部」を設置しました。
- ◎SDGsの取り組みの進め方などについて、検討や議論、情報共有を行っています。

SDGs達成につながる取り組み事例(1)

「環境国際協力と環境国際ビジネスの推進」(国際協力からビジネスへ)

【環境国際協力】

開発途上国では持続可能な都市づくりが求められている一方で、必要とされる具体的な政策や技術は多種多様です。本市ではこれまでの「顔の見えるお付き合い」を生かし、相手のニーズに応じて、オーダーメイド方式による都市間協力を進め、今後も「北九州市の総合力」を活用した海外展開を図ります。

アジアにつながる3つの力

①公害克服の経験 ②環境・エネルギー技術 ③フレンドリーな関係



フノンベン都との姉妹都市協定締結式

主な成果

- ・アジアの環境人材育成のための研修員を受入数約9,000人(2018年3月末時点)
- ・都市間連携の枠組みを生かし、インドネシア・フィリピン他5か国で国際協力を推進
- ・アジア7都府で177件のプロジェクトを展開(2018年6月末時点)

【環境国際ビジネス(水ビジネスを含む)】

- ◎「国内外に貢献する上下水道」の推進
「フノンベンの奇跡」と称された実績をはじめ、国際技術協力の取り組みによって、海外事業経験、ノウハウ、諸外国政府と人的ネットワークを蓄実に積み重ねてきました。
- ◎環境国際協力を持続可能なものにするため、ボランティアベースだけでなく、Win-Winとなるビジネスへのステップアップに取り組んでいます。
- ◎「北九州市海外水ビジネス推進協議会」
全国に先駆けて官民連携による水ビジネス推進組織である「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を発足しました(2010年)。

●国際技術協力

- ・国内外に貢献する上下水道
- ・経験やノウハウの蓄積
- ・人材育成
- ・人的ネットワークの形成

●海外水ビジネス

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」と連携し、ベトナム、カンボジア、インドネシアを中心に海外水ビジネスを展開

- ・(上流から下流まで)
- ・建設コンサルタント
- ・土木建設
- ・プラント建設
- ・電機・計装システム等
- ・商社・商社等
- ・その他

北九州市海外水ビジネス推進協議会

カンボジア工業手工芸者と貿易締結

カンボジアでの技術協力の様子 ベトナムに完成したU-BF

主な成果

- ・2010年9月に官民連携組織である「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立(会員数 148社/2018年9月時点)
- ・国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した海外水ビジネスを展開(受注件数は50件を超えている)
- ・2018年8月にハイフォン市(ベトナム)の浄水場改善事業を本協議会会員企業のみで構成するJV(共同企業体)で受注(受注金額: 約20億円)

SDGs達成につながる取り組み事例(2)

「市民活動の推進(市民力の再構築)」

【地域(自治会等)の活動】

- ◎地域課題は、「防災・防災・高齢化・子育て・健康づくり」など多様化・増大する一方で、少子高齢化が進み、地域活動の担い手が不足しています。
- ◎地域(自治会)やNPOなど多様な主体が横断的に連携し、課題を見える化し、課題解決を行うモデル事業(ワークショップなど)を実施しました。

【幼稚園による親子の活動】

- ◎市内のある私立幼稚園では、園児が持ち寄った使用済みペットボトルで、イカダを製作し、親子で楽しむイベントを開催しています。子ども達に、「リユース」や「自然の大切さ」を伝えています。

【子ども食堂の活動】

- ◎地域ボランティアや大学生が協力し、食事を提供するだけでなく、宿題を教えたり、遊び相手をするなどで、子ども達の「居場所づくり」にも貢献しています。

【企業の活動】

- ◎市内のある企業では、企業理念に「健康な体ときれいな水を守る」を掲げ、無添加石けんを製造しています。また、工場見学を通して、子ども達の環境意識の向上にも取り組んでいます。

【地域と大学の活動】

- ◎農業を通して、市内の大学生と地域の方々が交流し、地域活性化のプロジェクトが進んでいます。耕作放棄地で芋焼酎用のサツマイモを栽培し、市内酒造メーカーに供給するなど、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

ESD(持続可能な開発のための教育)や女性活躍推進の取り組み

- ◎ ESDの取り組み ・市民・NPO、学校、企業、行政等からなる「北九州ESD協議会」を中心に、ESD活動を推進しています。
- ・NPO等と連携し、街なかのゴミ拾いや市民交流会等を開催。これらの活動は、「人材育成」だけでなく、「まちづくり」や「シビックプライドの醸成」にも繋がっています。
- ◎ 女性活躍の推進 ・「イクボス」の趣旨に賛同する企業・団体トップによる「北九州イクボス同盟」を設立しました。
- ・市の83の付属機関等の女性委員の参画率が、53.2% (2017年7月現在)となり、指定都市として初めて50%を超えました。

主な成果

- 【ESDの取り組み】 ・地域を越えて、全市的・横断的に取り組む【ESDの推進】
- ・「北九州まなびとESDステーション」を活かした市民・NPO・大学の協働
- 【女性活躍の推進】 ・北九州市の付属機関及び市政運営上の会合(2017.7現在) 女性委員参画率 50%超 ※指定都市で初



モラル事業(ワークショップ)



専門員による機能的な視点を見出したワークショップ



子ども食堂での活動の様子



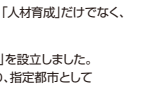
企業での活動の様子



地域と大学の活動の様子



ESD推進協議会の様子



市民主体のESDシンポジウム

SDGs達成につながる取り組み事例(3)

「次世代エネルギーの拠点化」(次世代エネルギーのビジネス化)

- ◎響灘地区において、広大な埋立地を活用し、風力発電やメガソーラー、バイオマス発電など「多様な再生可能エネルギー」の総合供給拠点として事業を推進しています(2013年～)。
- ◎市政50周年記念として、市民が出資する「市民太陽光発電所」を設置しました(2013年)。
- ◎地域エネルギー会社を設立(2015年)し、市内へ低炭素で安定した電力供給サービスを開始しました。
- ◎今後も、風力発電関連企業の誘致など、さらなる事業の推進を図っていきます。

多様なエネルギー供給の総合ショーケース(響灘地区)

風力発電

メガソーラー

主な成果

- ・地域エネルギー会社(株)北九州(ワ-)の設立(2015.12)
- ・バイオマス発電所の設置・運営事業者(電売交渉者)決定(2016.8)
- ・「北九州響灘海上ウインドファーム」(仮称)の事業者と北九州市が基本協定締結(2018.1)
- (計画: 最大44基程度、総事業費約1,750億円)

私たちの日常とSDGs ～市民・企業・団体が～丸となり、SDGs達成へ～

「市民」として、私たちができること

- ◎「市民」として、SDGsの達成に向けて、まず最初に取り組んでいただきたいのは、「SDGsの取り組みを応援すること」です。
- ◎新たなことを特別に行うのではなく、以下のような「ちょっとした気付き、行動」が大切です。
 - (1) 自らの生活を見つめ直す
 - (2) SDGsの取り組みの応援となる(具体例)
 - 健康増進のために、徒歩(ウォーキング)で通勤する
 - SDGsに取り組む企業の商品を積極的に購入する
- ◎また、SDGsに関心を持った方は、ぜひ市民活動団体などで、SDGsに関する活動に参画していただければと思います。

「市民活動団体(NPOや自治会等)」として、私たちができること

- ◎「市民活動団体」として、取り組んでいただきたいのは、SDGsを活用して「団体の取り組みをアピール」ということです。
- ◎新たなことを特別に行うのではなく、以下のような取り組みが大切です。
 - (1) 今行っている活動がSDGsにつながるかを考える
 - (2) そして、その活動が、17ゴールのうち、どのゴールに関連するか検討し、ホームページ等でゴールのアイコンを掲載し、PRする
- ◎このように、PRしていただくことで、以下の効果が考えられます。
 - 他団体とのコラボレーションの可能性が生まれる
 - 新たに団体の活動に参画してくれる人を獲得できるチャンスが拡大する

「企業(事業者)」として、私たちができること

- ◎「企業」の皆様には、是非、自社の企業活動全般をSDGsの視点で見直し、SDGsに資する取り組みを大いにPRして下さい。
- ◎このようにPRすると、以下の効果が考えられます。
 - 企業ブランドの向上により、売上げの増加につながる
 - 生産や調達方法を見直すことで、経営課題の抽出が期待できる
 - 国内外の投資家の評価が高まる(ESG投資等)
 - ※ESG投資: 企業の「環境・社会・ガバナンス」に関する活動を考慮した投資
- ◎SDGsの取り組みを評価するのは「市場」です。取り組みを進めることで「販路拡大や顧客確保による、企業活動の拡大」などのメリットが大いに期待できます。

SDGsの先進都市を目指して

SDGsに取り組み「都市のステータス」をさらに向上させる～

「オール北九州」でSDGsに取り組む!

「SDGs」に取り組むことで

北九州市環境基本計画(2025)

市長会賞(シビックSDGsアワード受賞)

市民生活の質(QOL)の向上 **都市ブランド力の向上** **世界に「北九州市」を発信・貢献**

- ◎SDGsの17のゴールの多くは、本市のこれまでの取り組みと関連しています。
- ◎本市の強みである「市民力」等を活かして、SDGs達成に取り組んでいます。
- ◎また、SDGsに取り組むことで「シビックプライド」を醸成し、市民のまちへの愛着を高めていきたいと考えています。
- ◎このようにSDGs達成に向けた取り組みを推進し、市民生活の質(QOL)及び都市ブランド力の向上を図ること、世界に成功モデルを発信し、世界全体のSDGs達成に貢献することを目指します。



(例)緑地や清掃活動など



企業での活動の様子